単語をどう分ける？（自立語）(1)

用言

自立語の中で、**活用があり、単独で述語になる**ことができるものを**用言**という。品詞では、動詞・形容詞・形容動詞が用言に当たる。

●**動詞**………動作・作用・存在を表す。言い切りが「**ウ段**」で終わる。
（例）話す・咲く・いる

動詞は自動詞と他動詞に分けられる。

・**自動詞**…動作の対象「〜を」をとらない動詞。
（例）人が集まる。　ものが壊れる。　花が咲く。

・**他動詞**…動作の対象「〜を」をとる動詞。
（例）人を集める。　ものを壊す。　本を読む。

●**形容詞**……状態・性質を表す。言い切りが「**い**」で終わる。
（例）明るい・楽しい・赤い

●**形容動詞**…状態・性質を表す。言い切りが「**だ**・**です**」で終わる。
（例）静かだ　・きれいだ　・立派だ
　　　静かです・きれいです・立派です

補助動詞・補助形容詞

動詞のうち、上の語に意味を補う、本来の意味が薄れた動詞を、**補助動詞**（形式動詞）という。

（例）人が　歩いて　いる。（補助動詞）

※補助動詞「いる」は、「存在する」という元の意味が薄れ、今動作が継続しているという意味を補う働きをしている。

補助動詞は主に「〜て（で）＋補助動詞」の形で用いられる。

（例）〜て　いる　　〜て　ある　　〜て　みる
　　　〜て　くる　　〜て　いく　　〜て　おく
　　　〜て　あげる　〜て　もらう

形容詞のうち、上の語に意味を補う、本来の意味が薄れた形容詞を、**補助形容詞**（形式形容詞）という。

（例）リンゴが　赤く　ない。（補助形容詞）

補助形容詞には「ない・よい・ほしい」などがあり、主に次の形で用いられる。

・形容詞（形容動詞）＋補助形容詞「ない」
・〜て（で）＋補助形容詞

（例）〜て　ない　　〜て　よい　　〜て　ほしい

確認テスト

(1) 次の①～⑥が、動詞なら**ア**、形容詞なら**イ**、形容動詞なら**ウ**で、それぞれ答えなさい。

① 近い
② 行く
③ 元気だ
④ のどかです
⑤ 書く
⑥ うれしい

(2) 次の①～④の動詞が、自動詞なら**ア**、他動詞なら**イ**で、それぞれ答えなさい。

① 動く
② 動かす
③ 変える
④ 変わる

(3) 次の中から、――線部が補助動詞であるものを三つ選びなさい。

ア とりあえずやってみる。
イ 美術館で絵画を見る。
ウ メモを机の上に置く。
エ 楽しみをとっておく。
オ お土産を学校でもらう。
カ お菓子（かし）を買ってもらう。

(4) 次の中から、――線部が補助形容詞であるものを二つ選びなさい。

ア 問題は難しくない。
イ 何も問題はない。
ウ ヒントがほしい。
エ 答えを教えてほしい。